

「肺癌の上大静脈症候群を発症した患者の静脈浸潤における予後の検討」
への協力をお願い

2012年1月-2017年8月で当院において肺癌による上大静脈症候群で診療された方及びそのご家族の方へ

研究機関名：尼崎総合医療センター 呼吸器内科・中部労災病院 呼吸器内科

研究責任者：中部労災病院 呼吸器内科 医師 春田由貴

分担研究者：

兵庫県立尼崎総合医療センター 呼吸器内科 医師 片岡裕貴

中部労災病院 放射線科 医師 真下伸一

中部労災病院 呼吸器内科 医師 松尾正樹

兵庫県立尼崎総合医療センター 放射線診断科 医師 大西康之

兵庫県立尼崎総合医療センター 呼吸器内科 医師 櫻井梓

1. 研究の意義と目的：上大静脈症候群は肺癌患者の数%に認められますが、画像所見に基づく予後や合併症についての報告はありません。肺癌の上大静脈症候群合併例における造影コンピュータ断層撮影（Computerized Tomography）の血管内浸潤の有無が予後に与える影響について評価します。
2. 研究の方法
 - 1) 研究対象：肺癌患者で上大静脈症候群と診断された患者さんを対象とします。
 - 2) 研究期間：臨床研究審査委員会の承認日から2年（調査対象期間：中部労災病院 2012年1月～2017年8月、兵庫県立尼崎総合医療センター2015年7月～2017年8月）
 - 3) 研究方法：上記対象期間において肺癌で上大静脈症候群を発症した患者さんの造影CTにおいて画像の評価を行い、合併症や予後との関係について調査します。
 - 4) 情報の保護：本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。この研究の結果が、患者さんの家族の疾病予測や患者さん本人の診断や治療方針に影響することはありません。すべての情報については、研究独自の番号を付けて匿名化した上で取り扱いを行います。
 - 5) 医学上の貢献：癌患者の上大静脈症候群において画像評価と上大静脈症候群の症状との相関を示した報告はありますが、さらに画像所見に基づいて予後予測や合併症の予測に繋がる可能性があります。

※対象者となることを希望されない方及びそのご家族の方は、下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

<問い合わせ・連絡先>

兵庫県立尼崎総合医療センター 呼吸器内科 氏名：櫻井 梓 電話：06-6480-7000